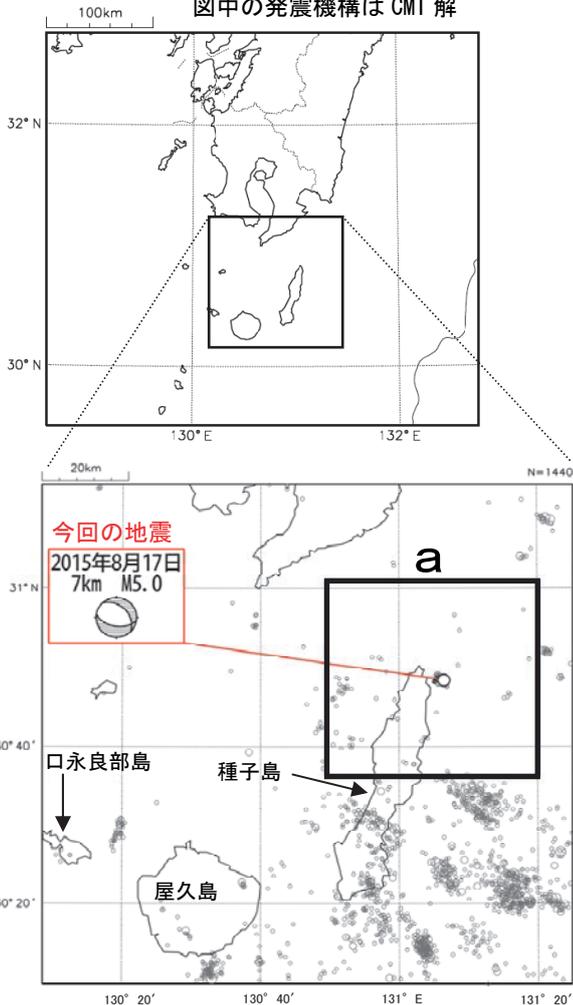


## 8 月 17 日 種子島近海の地震

震央分布図  
 (1997 年 10 月 1 日～2015 年 8 月 31 日、  
 深さ 0～30km、 $M \geq 2.0$ )  
 2015 年 8 月の地震を濃く表示  
 図中の発震機構は CMT 解

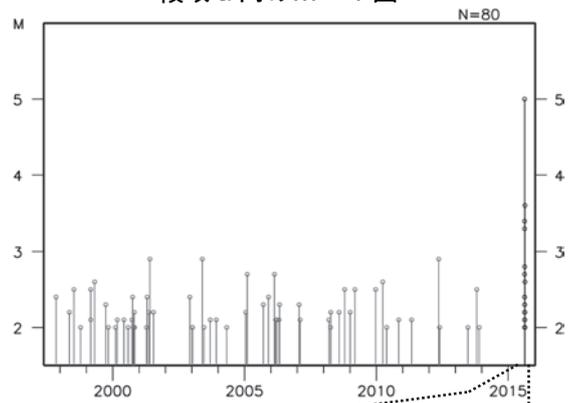


2015 年 8 月 17 日 20 時 40 分に種子島近海の深さ 7 km で  $M5.0$  の地震（最大震度 3）が発生した。この地震は、陸のプレートの地殻内で発生した。発震機構 (CMT 解) は、北北東-南南西方向に張力軸を持つ正断層型である。その後最大震度 1 を観測する余震が 1 回発生した。余震はほぼ収まっている。

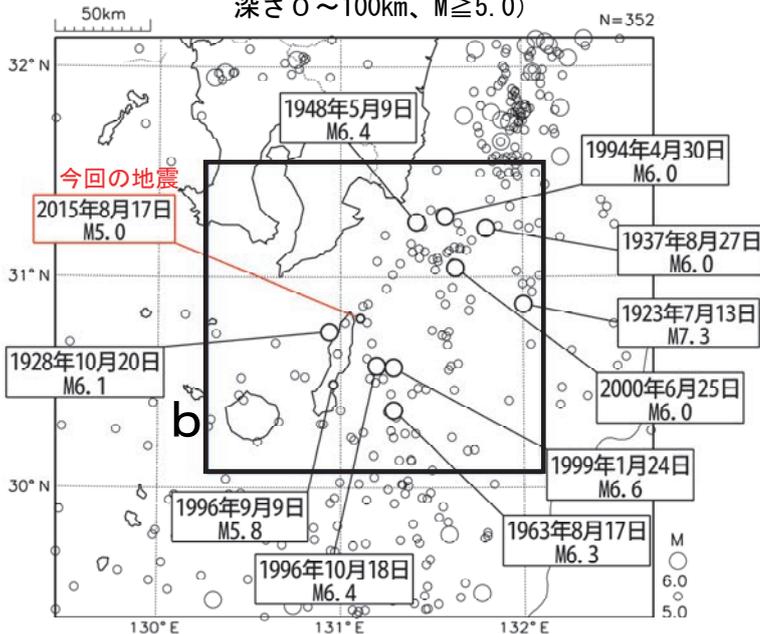
1997 年 10 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近（領域 a）では、 $M3.0$  以上の地震は発生していなかった。

1923 年 1 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、 $M6.0$  以上の地震が時々発生している。1923 年 7 月 13 日には、 $M7.3$  の地震が発生し、中種子村で住家小破 27 棟などの被害が生じた。1996 年 9 月 9 日には  $M5.8$  の地震（最大震度 4）が発生し、軽傷者 1 名、住家半壊 2 棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。1996 年 10 月 18 日の  $M6.4$  の地震（最大震度 4）では、種子島で 17cm の津波を観測した。

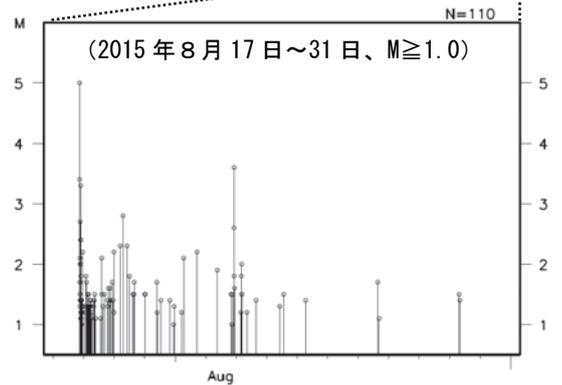
領域 a 内の M-T 図



震央分布図  
 (1923 年 1 月 1 日～2015 年 8 月 31 日、  
 深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$ )



(2015 年 8 月 17 日～31 日、 $M \geq 1.0$ )



領域 b 内の M-T 図

